議会だより だいせん
Public relations magazine of Daisen town council
2011.05
NO.24

みんなのひろば 声

大山町議会を傍聴して

桑原可菜子
（あけまの森）

3月17日、大山町女性の会有志で町議会を傍聴しました。本庁3階の議場は真摯な雰囲気があり、少し緊張して傍聴席に座りました。

鹿島、椎木、大森各議員の質問と森田町長、担当課長などの応答を聴きました。活発な意見交換だったと、会員の感想もありました。

特に、国民健康保険税については、さらに多くの活発な意見交換を重ねて、町民の側に立つ施策を検討してほしいと感じました。

ほかにも子どもたちへの本の取り組みや山香荘の問題、農業問題などが質疑応答され、大変勉強になりました。

加えて、東北を襲った未曽有の災害に、一刻も早い救援策を打ち出し、町民とともに力を合わせて支援できる体制をつくってほしいと望んでいます。

町政に望むこと

山上明美
（神田）

われわれも年末、年始の豪雪災害を忘れてはいません。

国道9号の大渋滞は、もとは人的災害です。先の見えぬ渋滞の中に一時いた私はそう思いました。国道でトラックが立ち往生した時点で、警察への連絡が必要でしたが、身動きできなくなるまで対処がなされなかったことがとても遺憾です。

平地でも大雪になることは数日前から予報されていたのに、休日の時にどのような防災対策がなされていたのか。行政の平勢の危機管理意識の甘さが指摘されます。災害対策にもっと人員と予算を付け、体制強化をすべきです。

今回の東日本大震災を目の当たりにして、当分の間は日本の経済、食の安全、生活確保の心配から予断を許しません。

国はもとよりわが町も、無駄な事業は排除し税金の使途を重視するべきです。

少子化対策は

二宮正美
（長野）

千年に一度と言う東日本大地震・大津波の惨状に心が痛みます。長野老人クラブも僅かですが義援金を送らせてもらいました。

一日も早い復興を願っています。

長野集落は昔から40戸余り、小学生は戦中戦後、昭和40年頃まで20数名、平成22年は11名、それでも多い方と言われています。

少子化により保育所の統合が行われるようです。

24年度には大山地区・中山地区の拠点保育所が同時にオープンするそうです。小学校、保育所の跡地の活用等・・・

企業誘致や若者向け、家賃の安い住宅等を望むこの頃です。

あとがき

東北地方太平洋沖地震で被災されました方に、心からお見舞い申し上げます。

山陰も今年は、過去に観測されたことのないような大雪で始まりました。地球温暖化により、日本海の水温が上昇し、水蒸気が多く発生したのが原因のひとつではないかといわれています。

そして、春は卒業・入学・就職など若い人にとって新しい人生のスタートでもあります。

大山町議会は任期4年のうち2年が過ぎ、後半の2年が始まります。時代、環境の変化にすばやく対応し、町民主役の町政になるよう、今後も気持ちを引き締め、よりよい町にしたいものです。

池田

写真撮影者：議会広報委員
裏表紙「名和神社の参道」
表紙「ドキドキ、うれしい入学式」

発行 / 大山町議会　編集 / 議会広報委員会
〒689-3211 鳥取県西伯郡大山町御来屋328
TEL 0859-54-5213　FAX 0859-54-5214

【発行責任者】
議長　野口　俊明

【広報委員会】
委員長　竹口　大紀
副委員長　大森　正治
委員　西山富三郎
委員　池田　満正
委員　杉谷　洋一
委員　米本　隆記

議会だよりのご感想をおよせください！